



2027年1月期 第2四半期決算説明資料

2026年9月

Japan Eyewear Holdings 株式会社（証券コード5889）

01 2027年1月期第2四半期 業績概況

02 事業セグメント別業績

01

2027年 1 月期第2四半期 業績概況

2027年1月期第2四半期累計実績

売上収益	10,258百万円	(+ 14.8%)	◆ 売上収益・営業利益は第2四半期累計期間の過去最高額を達成
売上総利益率	78.6%	(▲0.4pts.)	◆ 店舗売上が14.4%増加し、売上収益成長に貢献
営業利益	3,503百万円	(+ 21.4%)	◆ アジアを中心とした海外において、当社ブランドのファンが増加していることもあり、海外直営店・海外卸・国内店舗インバウンド売上は順調に推移。また、国内店舗日本人向け売上も堅調
営業利益率	34.2%	(+1.9pts.)	◆ 営業利益率は35%に迫る高水準
中間利益	2,241百万円	(+28.5%)	◆ 中間利益は前年同期比28.5%増加の22億円となった

金子眼鏡セグメント

売上高	7,061百万円	(+ 20.2%)	◆ 店舗売上が14.9%増加し、売上高成長に貢献
セグメント利益	2,794百万円	(+ 25.6%)	◆ 国内店舗の既存店売上高前年比は第2四半期累計108.6%、第2四半期109.2%
			◆ 2店舗の新規出店を実施

フォーナインズセグメント

売上高	3,196百万円	(+ 4.5%)	◆ 店舗売上が13.1%増加し、売上高成長に貢献
セグメント利益	970百万円	(+ 2.6%)	◆ 国内店舗の既存店売上高前年比は第2四半期累計106.9%、第2四半期108.0%
			◆ 国内2店舗の新規出店を実施

() 内は前年比

連結PL（第2四半期累計・前年同期比）

- 売上収益は前期比14.8%増の約103億円、営業利益は前期比21.4%増の35億円
- 売上総利益率は78.6%、営業利益率は34.2%と高水準を維持
- 中間利益は前年同期比28.5%増加の22億円となった

百万円

	2026/1期Q2	2027/1期Q2	増減	前年同期比
売上収益	8,937	10,258	1,321	114.8%
売上原価	1,874	2,195	320	117.1%
売上総利益	7,062	8,063	1,000	114.2%
売上総利益率	79.0%	78.6%	▲ 0.4Pt	
販売費及び一般管理費	4,180	4,651	470	111.3%
その他の収益/その他の費用（▲）	4	91	87	-
営業利益	2,886	3,503	617	121.4%
営業利益率	32.3%	34.2%	1.9Pt	
EBITDA	3,814	4,510	695	118.2%
EBITDA率	42.7%	44.0%	1.3Pt	
調整後EBITDA	3,879	4,489	609	115.7%
金融収益/金融費用（▲）	▲ 158	▲ 192	▲ 33	121.3%
税引前中間利益	2,727	3,311	583	121.4%
法人所得税費用	984	1,070	85	108.7%
中間利益	1,743	2,241	497	128.5%
調整後当期中間利益	1,788	2,226	438	124.5%

注:
1. EBITDA=営業利益+減価償却費+識別可能資産償却費
2. 調整後EBITDA=EBITDA（営業利益+減価償却費+識別可能資産償却費）+上場関連費用（注3）+買収関連費用（注4）-一過性収益
3. 法律事務所への支払報酬や外部コンサルタント費用等の上場に関連する一時的な費用であります。
4. 2025年1月期にタイホウ社、2026年1月期にハズ社を買収した際の費用であります。

連結PL（通期予想進捗）

- 第2四半期累計実績の通期予想に対する進捗率は、売上収益49.8%、営業利益51.5%、当期利益50.9%
- 進捗率に問題なく想定通りの結果

百万円

	通期予想	2027/1期Q2	進捗率
売上収益	20,600	10,258	49.8%
売上原価	4,100	2,195	53.5%
売上総利益	16,500	8,063	48.9%
売上総利益率	80.1%	78.6%	
販売費及び一般管理費	9,700	4,651	48.0%
その他の収益/その他の費用（▲）	0	91	-
営業利益	6,800	3,503	51.5%
営業利益率	33.0%	34.2%	
EBITDA	8,600	4,510	52.5%
EBITDA率	41.7%	44.0%	
調整後EBITDA	8,600	4,489	52.2%
金融収益/金融費用（▲）	▲ 300	▲ 192	64.2%
税引前利益/税引前中間利益	6,500	3,311	50.9%
法人所得税費用	2,100	1,070	51.0%
当期利益/中間利益	4,400	2,241	50.9%

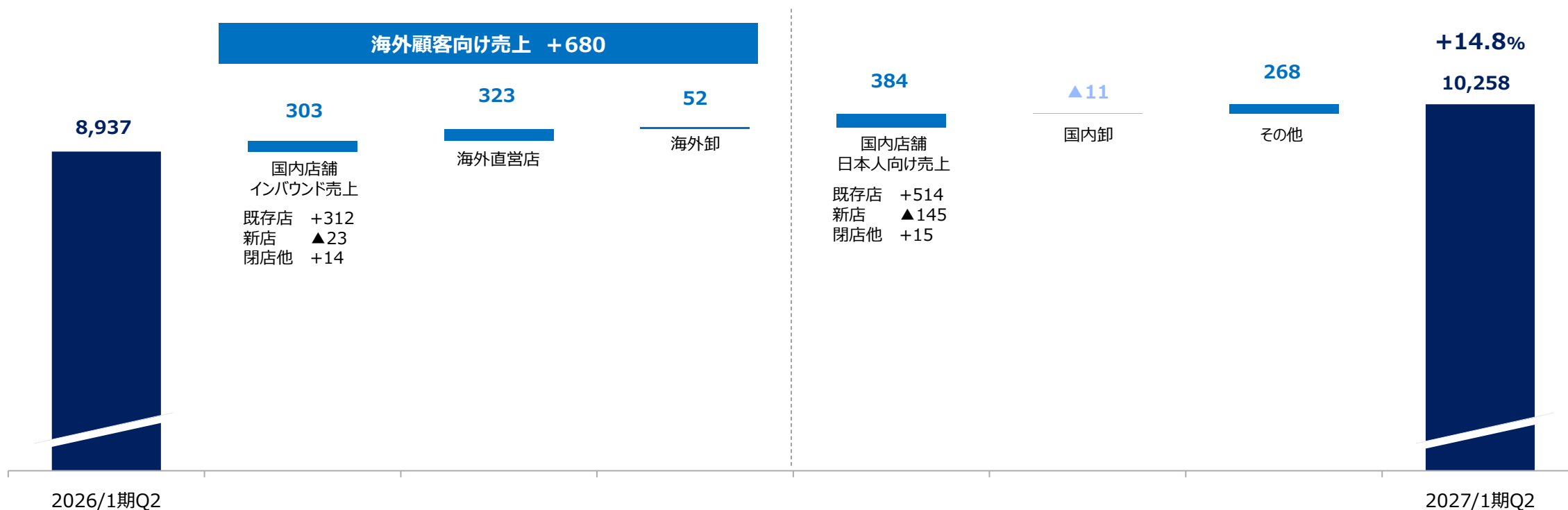
注:
1. EBITDA=営業利益+減価償却費+識別可能資産償却費
2. 調整後EBITDA=EBITDA（営業利益+減価償却費+識別可能資産償却費）+上場関連費用（注3）+買収関連費用（注4）-一過性収益
3. 法律事務所への支払報酬や外部コンサルタント費用等の上場に関連する一時的な費用であります。
4. 2025年1月期にタイホウ社、2026年1月期にハンズ社を買収した際の費用であります。

売上収益増減（第2四半期累計）

- 連結売上収益は前年同期比 + 14.8%の約103億円を達成
- 引き続き堅調なインバウンド売上により海外顧客向け売上は前年比6.8億円増。新規出店を含む国内店舗における日本人向け売上は3.8億円増

第2四半期累計

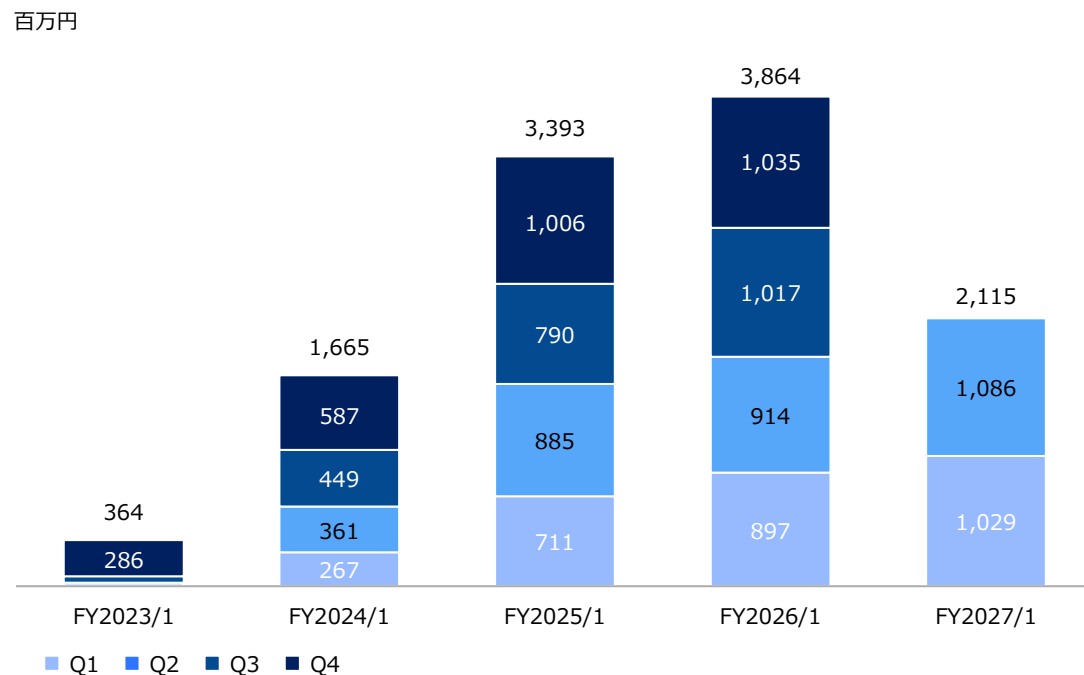
百万円



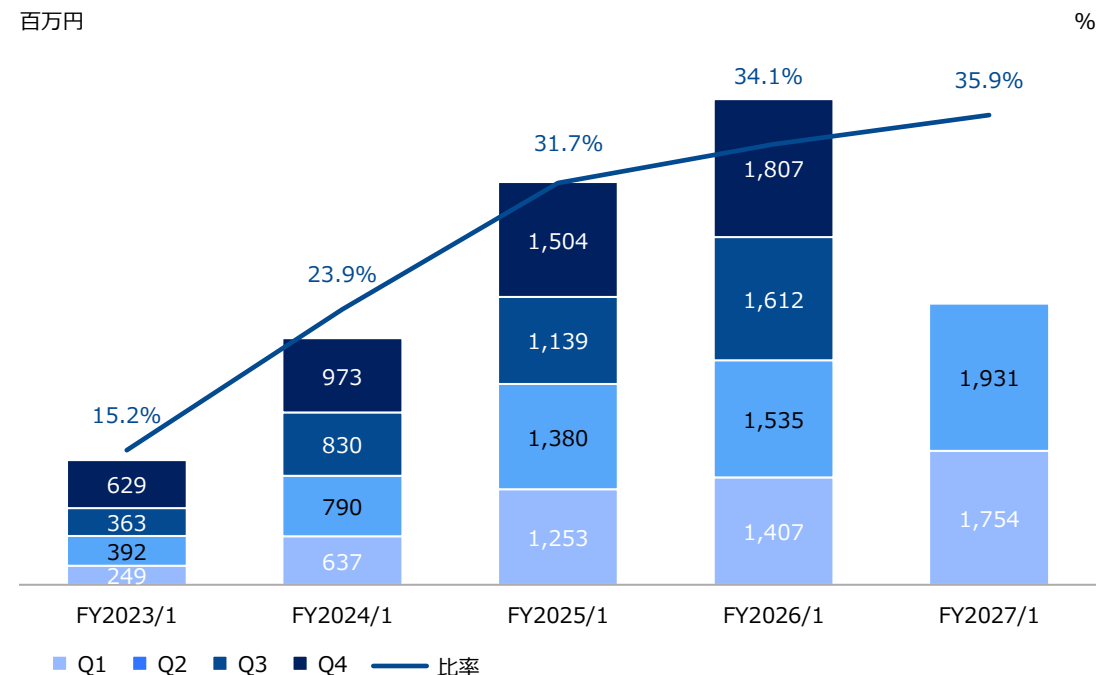
連結PL（海外向け売上）

- 第2四半期の国内店舗におけるインバウンド顧客向け売上は、前年同期比18.8%増の約11億円となり、四半期単位での過去最高額となった
- 第2四半期の海外顧客向け売上は前年同期比25.8%増の19億円となり、連結売上に占める比率は35.9%を達成

四半期別インバウンド売上 (1)



海外顧客向け売上金額・比率 (3)



第2四半期インバウンド売上1,086百万円
2026年5月～2026年7月訪日者数10,150千人 (2)

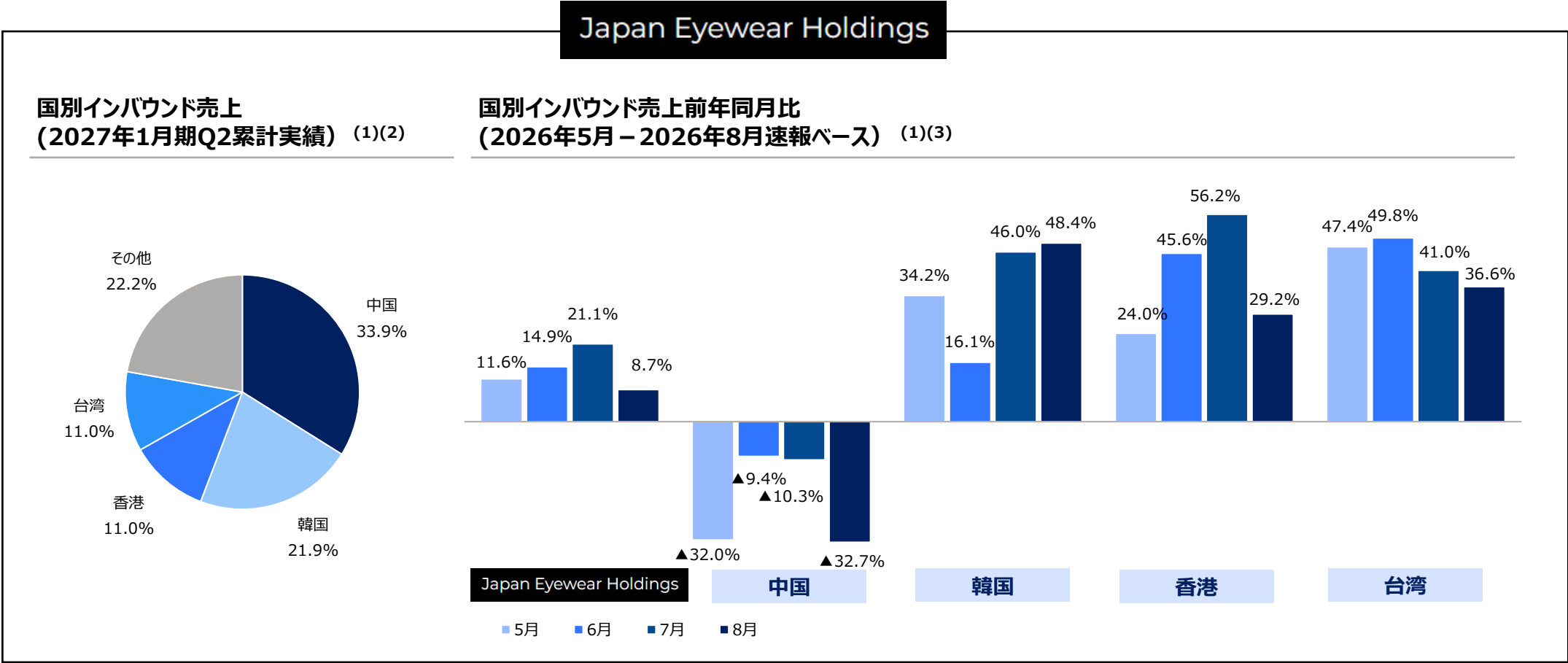
前年同期比 +18.8%
前年同期比 ▲3.4%

注:

1. 国内直営店における訪日外国人顧客による売上収益（卸販売先におけるインバウンド売上は含まない）
2. 2026年8月19日付日本政府観光局（JNTO）リリースより。2026年6月及び2026年7月は推計値
3. 海外直営店舗での売上収益、海外における卸売による売上収益、インバウンドの売上収益（直営店における訪日外国人顧客による売上収益を指しており、国内卸売における訪日外国人観光客による売上収益は含まない）を加算したデータ。これを連結売上で除したものを比率としている

インバウンド売上

- 国内店舗におけるインバウンド売上のうち約80%を中国・韓国・香港・台湾からの顧客が占めるが、中国の割合が2026年1月期から約13ポイント低下
- 引き続き、中国からの訪日者数減少の影響を受けたが、その他地域からのお客様向け売上の伸びにより相殺



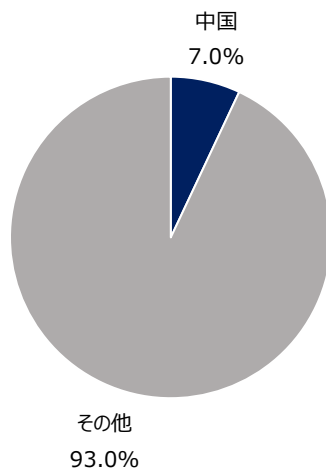
注:
1. 金子眼鏡セグメント及びフォーナインズセグメントにおける合計値
2. 2026年2月 - 2026年7月の合計値
3. 2026年5月 - 2026年8月速報の各月における実績値

インバウンド売上

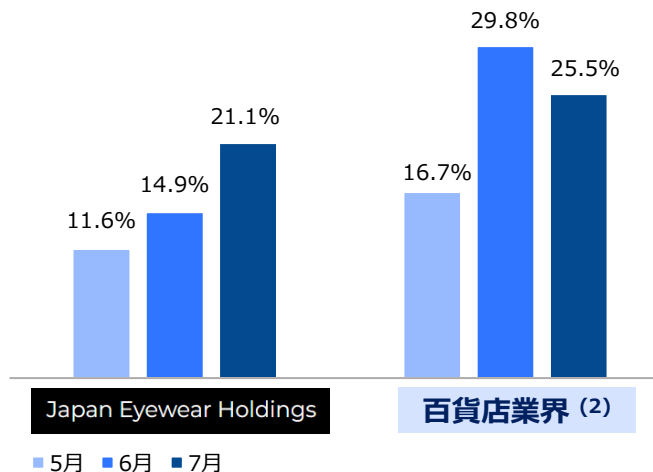
- 連結売上収益に対するインバウンド売上のうち中国からの顧客向け売上の割合は7%となり、2026年1月期比3ポイント低下
- 当第2四半期における当社のインバウンド売上は、百貨店業界の免税売上とは似た傾向にある
- インバウンド売上のうち中国からの顧客向け売上は、中国からの訪日者数の減少幅と比較してマイナス幅は大きくない

Japan Eyewear Holdings

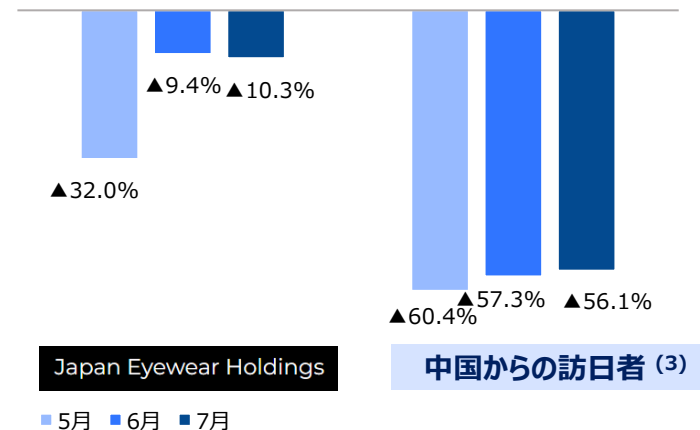
連結売上に占める中国顧客向け売上比率
(2027年1月期Q2実績) (1)



百貨店における免税売上と当社インバウンド売上の前年同月比の比較
(2026年5月 - 2026年7月速報ベース) (2)



中国からの訪日者数と当社インバウンド売上のうち中国顧客向け売上の前年同月比の比較
(2026年5月 - 2026年7月速報ベース) (3)



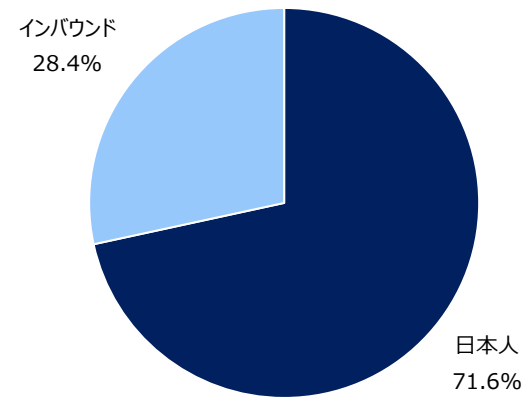
注:

1. 国内店舗売上における中国からの訪日者向け売上の合計を連結売上収益で除した数値
2. 百貨店は日本百貨店協会開示資料を参照。当社はインバウンド売上高合計を参照
3. 中国からの訪日者数は日本政府観光局の公表データを使用

日本人向け売上

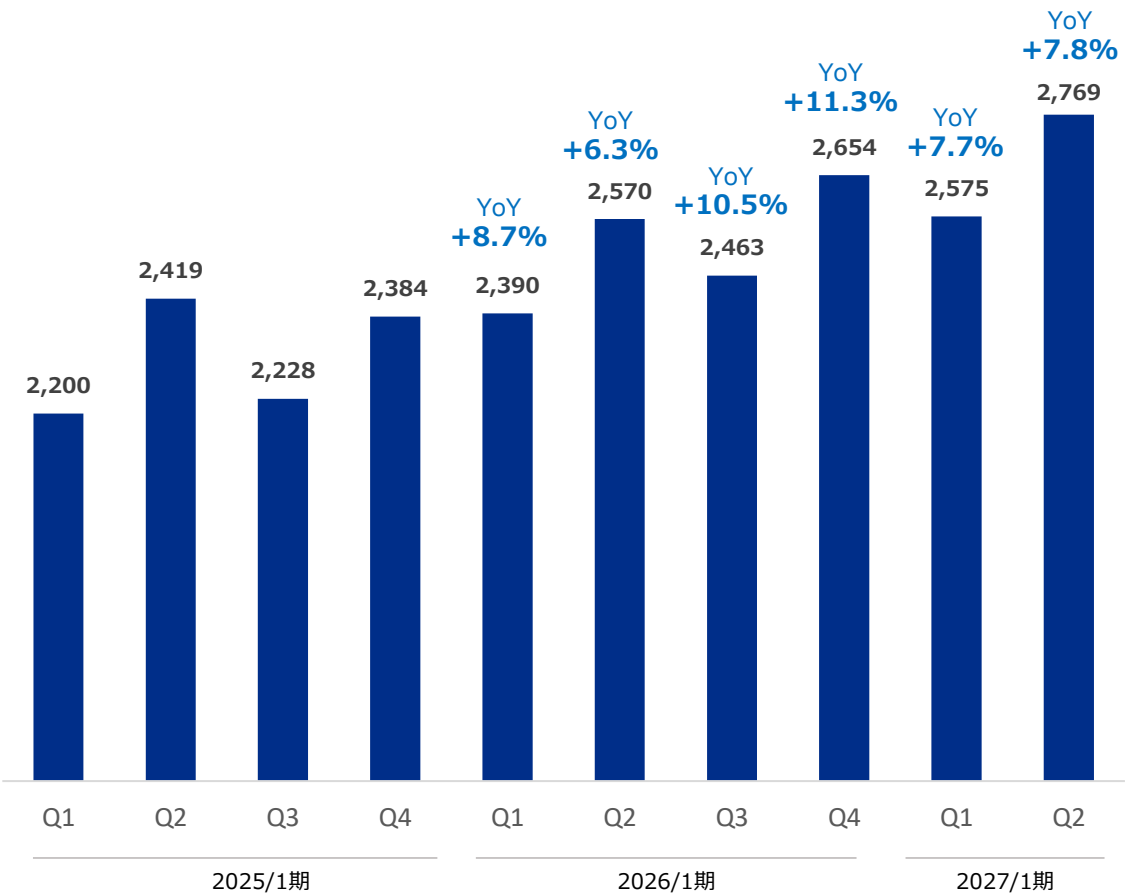
- 国内店舗売上に占める日本人向け比率は約72%
- 国内における厳選した立地への新規出店、一式単価の上昇などにより、国内店舗における日本人向け売上は堅調に推移している

国内店舗売上に占める日本人向け売上比率
(2027年1月期第2四半期累計実績)



国内店舗における日本人向け売上推移

百万円



連結販管費（第2四半期累計）

- 販管費約5億円増加。主な増加要因は店舗数増加、店舗売上増加に伴う費用増

百万円

	2026/1期Q2	2027/1期Q2	増減/pt差	前年同期比	備考
販売費および一般管理費合計	4,180	4,651	470	111.3%	
売上比	46.8%	45.3%	▲ 1.4Pt		
人件費	1,597	1,817	220	113.8%	主として店舗数増による人件費増
売上比	17.9%	17.7%	▲ 0.2Pt		
減価償却費 ⁽¹⁾	886	962	76	108.6%	出店に伴う使用権資産償却増
売上比	9.9%	9.4%	▲ 0.5Pt		新工場設立による有形固定資産等償却増 ほか
賃借料	520	593	73	114.0%	店舗売上増加に伴う歩合家賃増
売上比	5.8%	5.8%	▲ 0.0Pt		
支払手数料	285	271	▲ 14	95.0%	
売上比	3.2%	2.6%	▲ 0.6Pt		
販売促進費	240	294	54	122.6%	
売上比	2.7%	2.9%	0.2Pt		
販売代行手数料	179	204	24	113.7%	店舗運営委託先向け手数料
売上比	2.0%	2.0%	▲ 0.0Pt		店舗売上増加に伴い増加
広告宣伝費	28	21	▲ 6	77.0%	
売上比	0.3%	0.2%	▲ 0.1Pt		
その他	442	485	43	109.8%	
売上比	5.0%	4.7%	▲ 0.2Pt		

注:
1. 減価償却費には店舗賃貸借にかかる使用権資産の償却が含まれています。(2026/1期 721百万円、2027/1期 773百万円)

連結PL（第2四半期・前年同期比）

- 売上収益は前期比13.9%増の54億円、営業利益は前期比15.5%増の18億円
- 売上総利益率は77.9%、営業利益率は33.7%と高水準を維持
- 四半期利益は前年同期比22.3%増加の約12億円となった

百万円

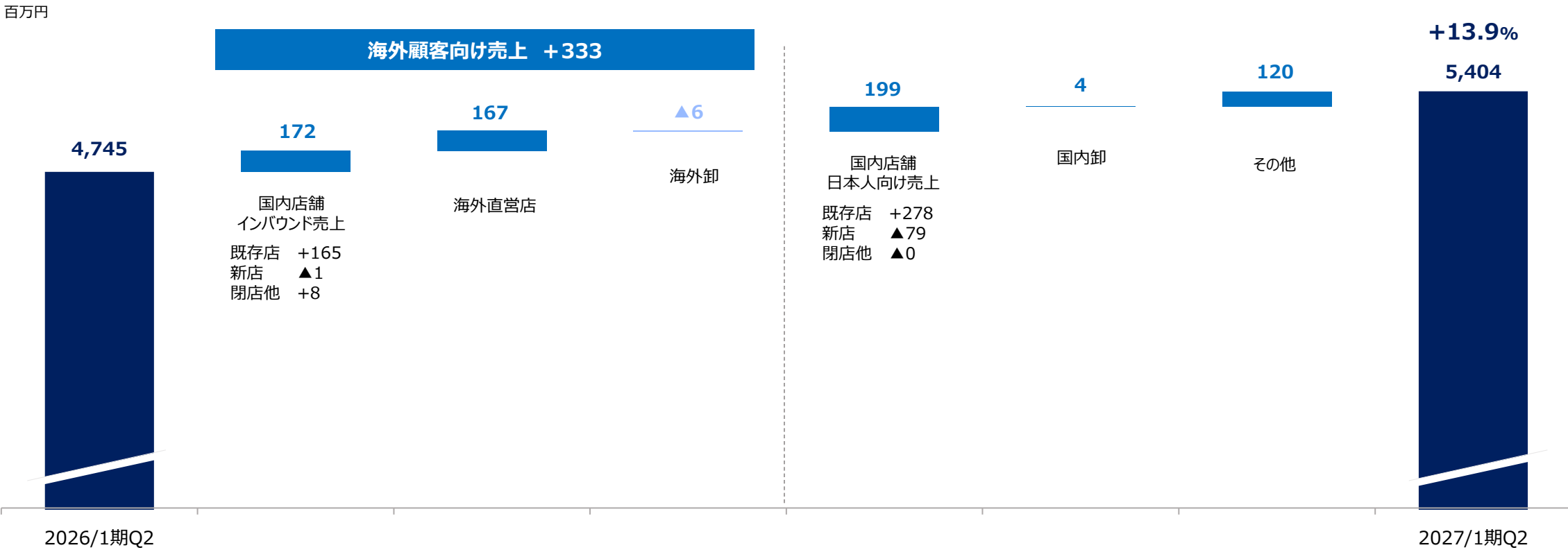
	2026/1期Q 2 (5月～7月)	2027/1期Q 2 (5月～7月)	増減	前年同期比
売上収益	4,745	5,404	659	113.9%
売上原価	1,016	1,193	176	117.4%
売上総利益	3,728	4,211	482	112.9%
売上総利益率	78.6%	77.9%	▲ 0.7Pt	-
販売費及び一般管理費	2,153	2,393	239	111.1%
その他の収益/その他の費用（▲）	3	5	1	143.4%
営業利益	1,578	1,823	244	115.5%
営業利益率	33.3%	33.7%	0.5Pt	-
EBITDA	2,048	2,337	288	114.1%
EBITDA率	43.2%	43.2%	0.1Pt	-
調整後EBITDA	2,092	2,351	259	112.4%
金融収益/金融費用（▲）	▲ 79	▲ 83	▲ 3	104.9%
税引前四半期利益	1,499	1,739	240	116.0%
法人所得税費用	538	564	26	104.8%
四半期利益	960	1,175	214	122.3%
調整後当期四半期利益	990	1,185	194	119.6%

注:
1. EBITDA=営業利益+減価償却費+識別可能資産償却費
2. 調整後EBITDA=EBITDA（営業利益+減価償却費+識別可能資産償却費）+上場関連費用（注3）+買収関連費用（注4）-一過性収益
3. 法律事務所への支払報酬や外部コンサルタント費用等の上場に関連する一時的な費用であります。
4. 2025年1月期にタイホウ社、2026年1月期にハンズ社を買収した際の費用であります。

売上収益増減（第2四半期）

- 連結売上収益は前年同期比 + 13.9%の54億円を達成
- 引き続き堅調なインバウンド売上により海外顧客向け売上は前年比3.3億円増。新規出店を含む国内店舗における日本人向け売上は約2.0億円増

第2四半期



連結販管費（第2四半期）

- 販管費は2億円増加。主な増加要因は店舗数増加、店舗売上増加に伴う費用増

百万円

		2026/1期Q2 (5月～7月)	2027/1期Q2 (5月～7月)	増減/pt差	前年同期比	備考
販売費および一般管理費合計		2,153	2,393	239	111.1%	
	売上比	45.4%	44.3%	▲ 1.1Pt		
人件費		824	922	98	111.9%	主として店舗数増による人件費増
	売上比	17.4%	17.1%	▲ 0.3Pt		
減価償却費 ⁽¹⁾		448	491	43	109.7%	出店に伴う使用権資産償却増
	売上比	9.5%	9.1%	▲ 0.4Pt		新工場設立による有形固定資産等償却増 ほか
賃借料		266	305	38	114.6%	店舗売上増加に伴う歩合家賃増
	売上比	5.6%	5.6%	0.0Pt		
支払手数料		168	141	▲ 26	84.1%	
	売上比	3.5%	2.6%	▲ 0.9Pt		
販売促進費		131	154	23	117.5%	
	売上比	2.8%	2.9%	0.1Pt		
販売代行手数料		94	103	8	109.4%	店舗運営委託先向け手数料
	売上比	2.0%	1.9%	▲ 0.1Pt		店舗売上増加に伴い増加
広告宣伝費		11	10	▲ 1	90.3%	
	売上比	0.3%	0.2%	▲ 0.1Pt		
その他		207	262	55	126.6%	
	売上比	4.4%	4.9%	0.5Pt		

注:
1. 減価償却費には店舗賃貸借にかかる使用権資産の償却が含まれています。(2026/1期 364百万円、2027/1期 394百万円)

連結貸借対照表

- 流動資産約7億円増加のうち、現預金残高が約6億円増加、棚卸資産が2億円増加
- 当期利益計上によるプラス、配当金支払によるマイナスにより資本合計は13億円増加

百万円

	2026/ 1 月末	2026/7月末	増減	対前期末
総資産	39,911	41,177	1,266	103.2%
構成比	100.0%	100.0%		
流動資産	7,340	7,999	659	109.0%
構成比	18.4%	19.4%		
非流動資産	32,570	33,178	607	101.9%
構成比	81.6%	80.6%		
流動負債	16,570	5,409	▲ 11,160	32.6%
構成比	41.5%	13.1%		
非流動負債	5,152	16,261	11,108	315.6%
構成比	12.9%	39.5%		
資本合計	18,187	19,506	1,318	107.3%
構成比	45.6%	47.4%		
銀行借入金残高	11,950	11,712	▲ 237	98.0%
棚卸資産	2,416	2,660	244	110.1%

連結キャッシュ・フロー計算書

- 営業キャッシュ・フローの増加、投資キャッシュ・フローの支出減少などにより、前年同期末と比較して現預金が約6億円増加

百万円

	2026/1期Q2	2027/1期Q2	当期実績の主な内訳	
営業キャッシュ・フロー（小計）	3,520	3,924		
営業キャッシュ・フロー	2,283	2,776	税引前四半期利益	+ 3,311
			減価償却費	+ 1,006
			棚卸資産の増減額（▲は増加）	▲244
			法人所得税の支払額	▲1,031
投資キャッシュ・フロー	▲ 1,427	▲ 247	有形固定資産の取得による支出	▲ 409
			保険積立金の解約による収入	+ 143
財務キャッシュ・フロー	▲ 1,724	▲ 2,000	長期借入金の返済による支出	▲237
			株主への配当金支払	▲985
			リース負債の返済による支出	▲749
現金及び現金同等物期末残高	3,047	3,617		

出退店サマリー

- 2027年1月期第2四半期末の総店舗数は117
- 6か月間で計5店舗の新規出店（金子眼鏡2店舗・フォーナインズ3店舗）、金子眼鏡1店舗の退店を実施

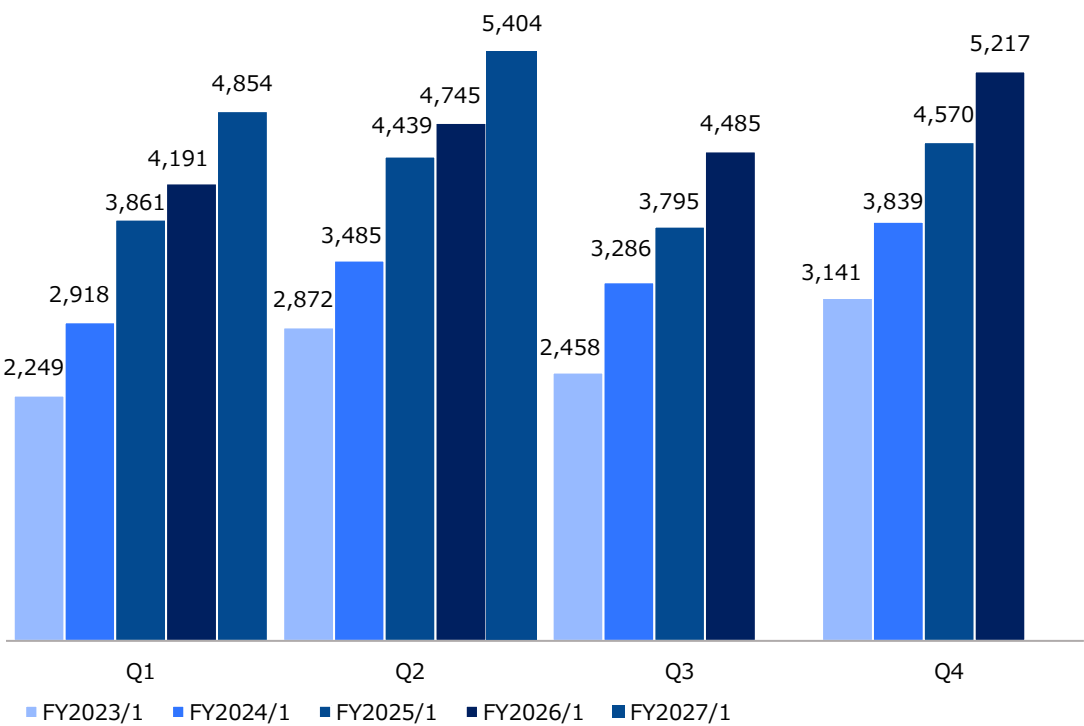
		6か月間実績			通期計画			最新見込み			
		前期末店舗数	出店	退店/移転	2027/1Q2 期末店舗数	出店	退店/移転	2027/1 期末店舗数	出店	退店/移転	2027/1 期末店舗数
金子眼鏡	国内	84	1	1	84	1		85	2	2	84
	中国	4	1		5	2		6	3		7
	香港	2			2			2	1		3
	台湾	1			1			1	1		2
	シンガポール	1			1			1			1
	フランス	2			2			2			2
フォーナインズ	国内	18	3		21	4		22	7		25
	シンガポール	1			1			1			1
計		113	5	1	117	7	0	120	14	2	125

四半期別売上収益・営業利益推移

- 第2四半期、売上収益、営業利益ともに過去最高額を更新

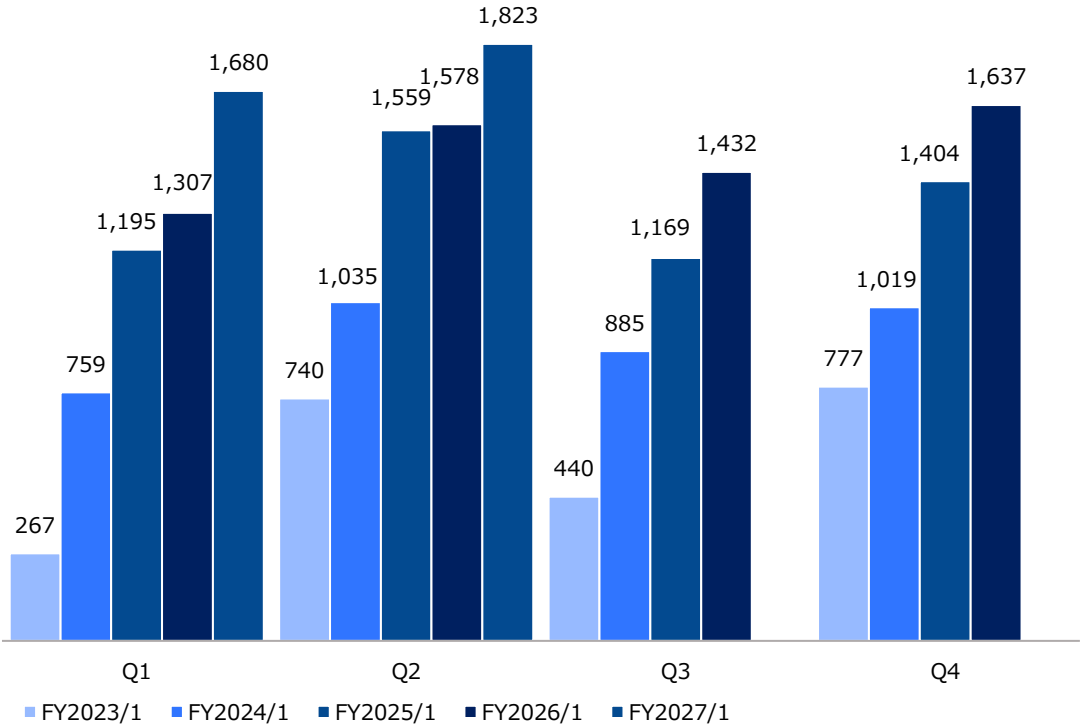
売上収益

百万円



営業利益

百万円



02

事業セグメント別業績

セグメントPL（第2四半期累計）

- 金子眼鏡セグメントは+20.2%増収・+25.6%増益
- 一方のフォーナインズセグメントは海外卸売上のマイナスもあり、+4.5%増収・+2.6%増益にとどまった

百万円

			2026/1期Q2	2027/1期Q2	増減	前年同期比
	売上高	店舗売上高	5,320	6,110	790	114.9%
		国内卸売上高	190	167	▲ 22	87.9%
		海外卸売上高	330	463	132	139.9%
		その他売上高	35	320	285	—
		計	5,876	7,061	1,185	120.2%
	セグメント利益		2,224	2,794	569	125.6%
	売上高	店舗売上高	1,692	1,914	221	113.1%
		国内卸売上高	784	796	11	101.5%
		海外卸売上高	560	480	▲ 79	85.8%
		その他売上高	22	5	▲ 17	22.4%
		計	3,060	3,196	136	104.5%
	セグメント利益		945	970	24	102.6%
共通・調整						
	セグメント利益		▲ 283	▲ 260	22	91.9%
	売上高	店舗売上高	7,013	8,025	1,012	114.4%
		国内卸売上高	975	963	▲ 11	98.8%
		海外卸売上高	891	943	52	105.9%
		その他売上高	57	325	268	—
		計	8,937	10,258	1,321	114.8%
	セグメント利益		2,886	3,503	617	121.4%

セグメントPL（第2四半期）

- 金子眼鏡セグメントは+20.0%増収・+22.6%増益
- 一方のフォーナインズセグメントは海外卸売上のマイナスもあり、3.1%増収・1.3%減益となった

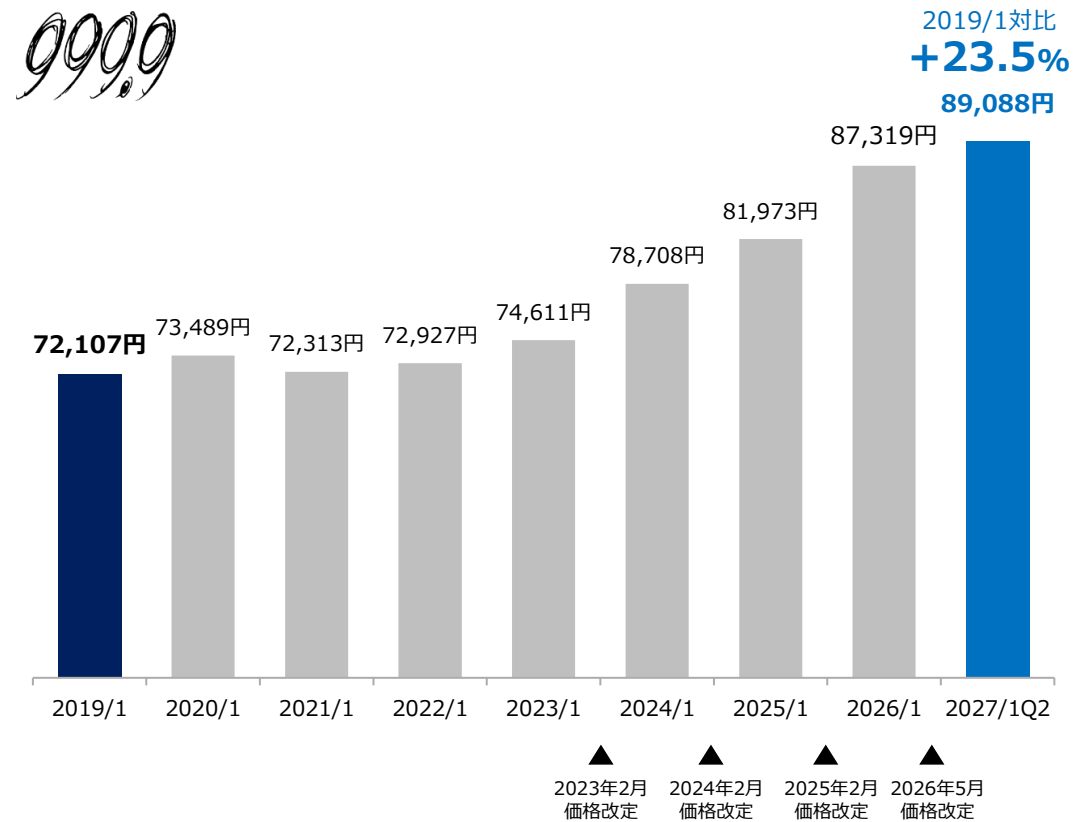
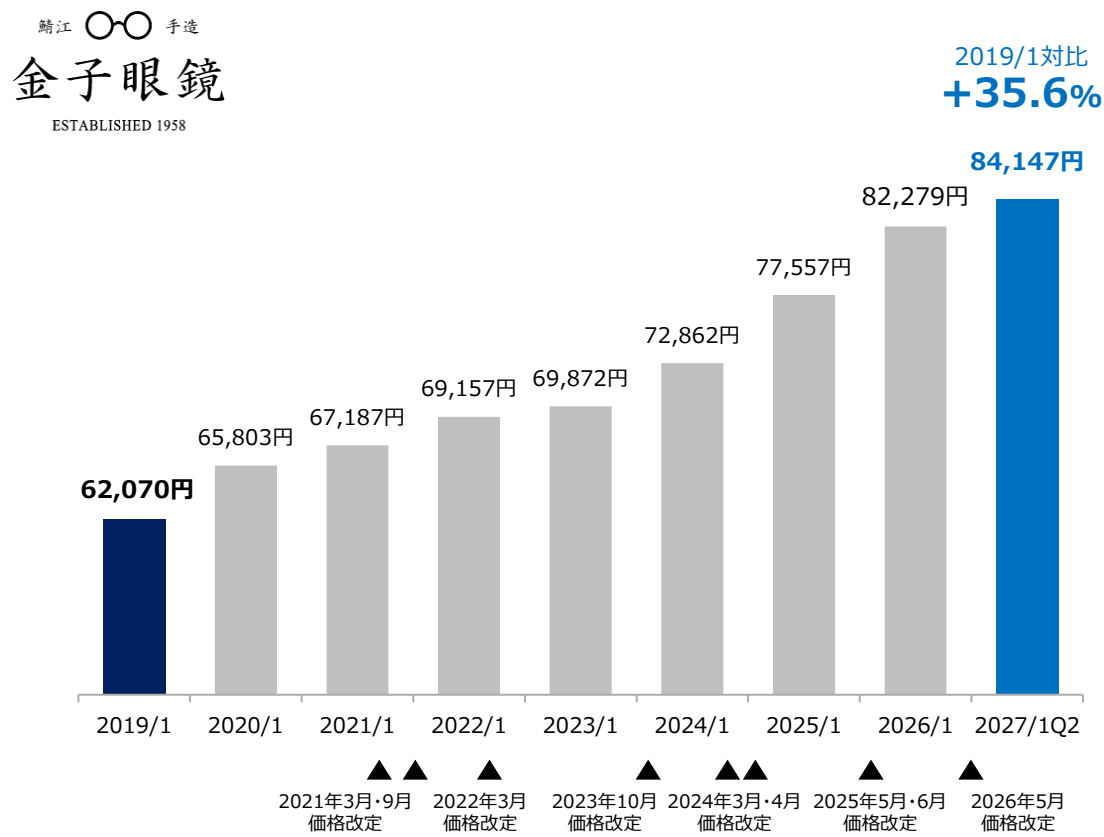
百万円

			2026/1期Q2 (5月～7月)	2027/1期Q2 (5月～7月)	増減	前年同期比
	売上高	店舗売上高	2,730	3,149	419	115.4%
		国内卸売上高	64	68	4	106.8%
		海外卸売上高	194	242	48	124.8%
		その他売上高	32	166	133	—
		計	3,021	3,627	605	120.0%
	セグメント利益		1,148	1,408	259	122.6%
	売上高	店舗売上高	894	1,014	119	113.4%
		国内卸売上高	527	528	0	100.1%
		海外卸売上高	286	232	▲ 54	81.1%
		その他売上高	14	2	▲ 12	13.8%
		計	1,723	1,777	53	103.1%
	セグメント利益		594	586	▲ 7	98.7%
共通・調整	セグメント利益		▲ 164	▲ 172	▲ 7	104.8%
	売上高	店舗売上高	3,624	4,163	539	114.9%
		国内卸売上高	591	596	4	100.8%
		海外卸売上高	481	475	▲ 6	98.8%
		その他売上高	47	168	120	354.6%
		計	4,745	5,404	659	113.9%
	セグメント利益		1,578	1,823	244	115.5%

ブランド力を背景とした継続的な既存店成長

- 国内アイウェア市場においてプレゼンスの高い2つのブランドを有することで多様なカテゴリの商品を提供でき、グループとしてのブランド力は更に向上
- 結果として一式単価の継続的な向上を通じて既存店成長を実現する

一式単価の継続的な向上 (1)

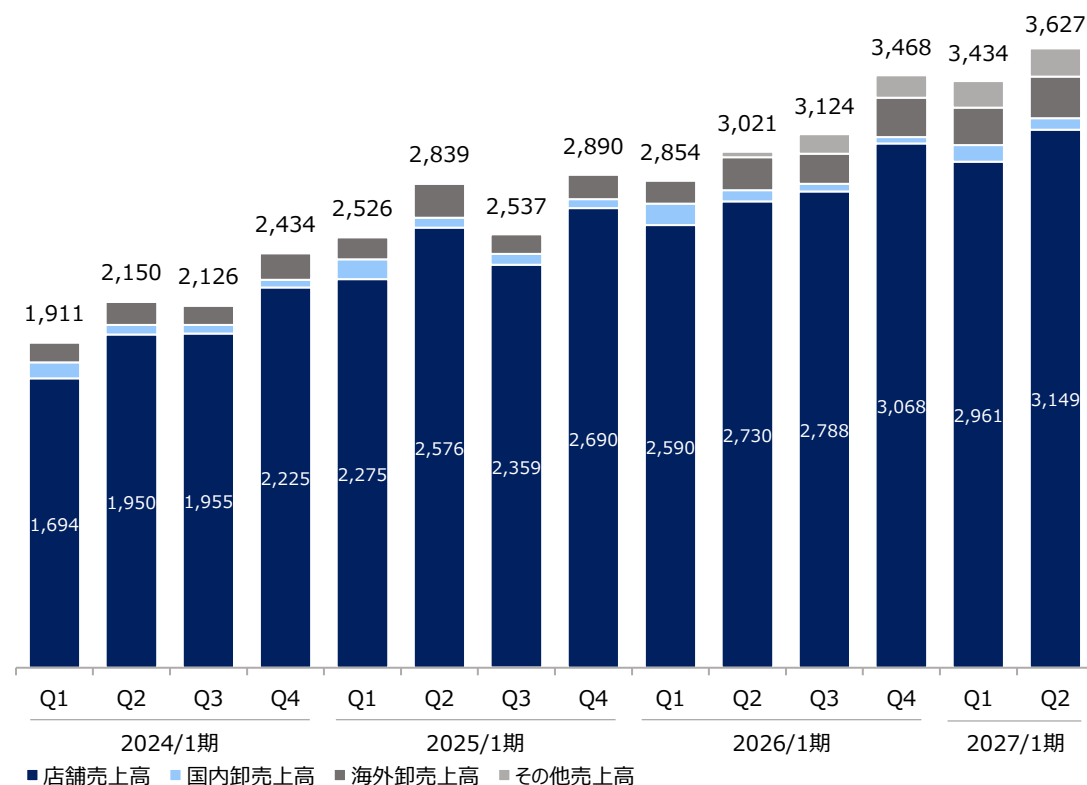


注:
1. 一式単価はフレーム及びレンズの購入単価合計。各期2/1~1/31の集計結果

- 店舗売上が着実な成長を続けており、第2四半期のセグメント売上は前年同期比20.0%増の36億円、セグメント利益は22.6%増の14億円となり、セグメント売上、セグメント利益ともに過去最高額を更新
- 第2四半期累計期間において2店舗の新規出店を実施

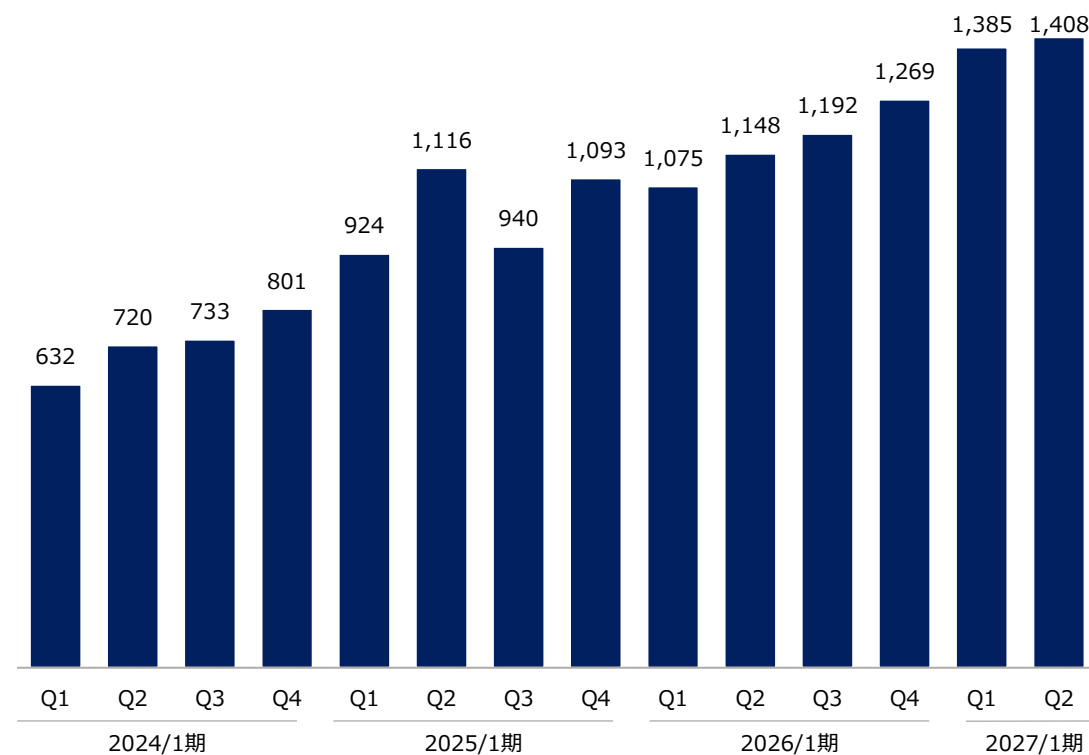
販売経路別セグメント売上

百万円



セグメント利益

百万円



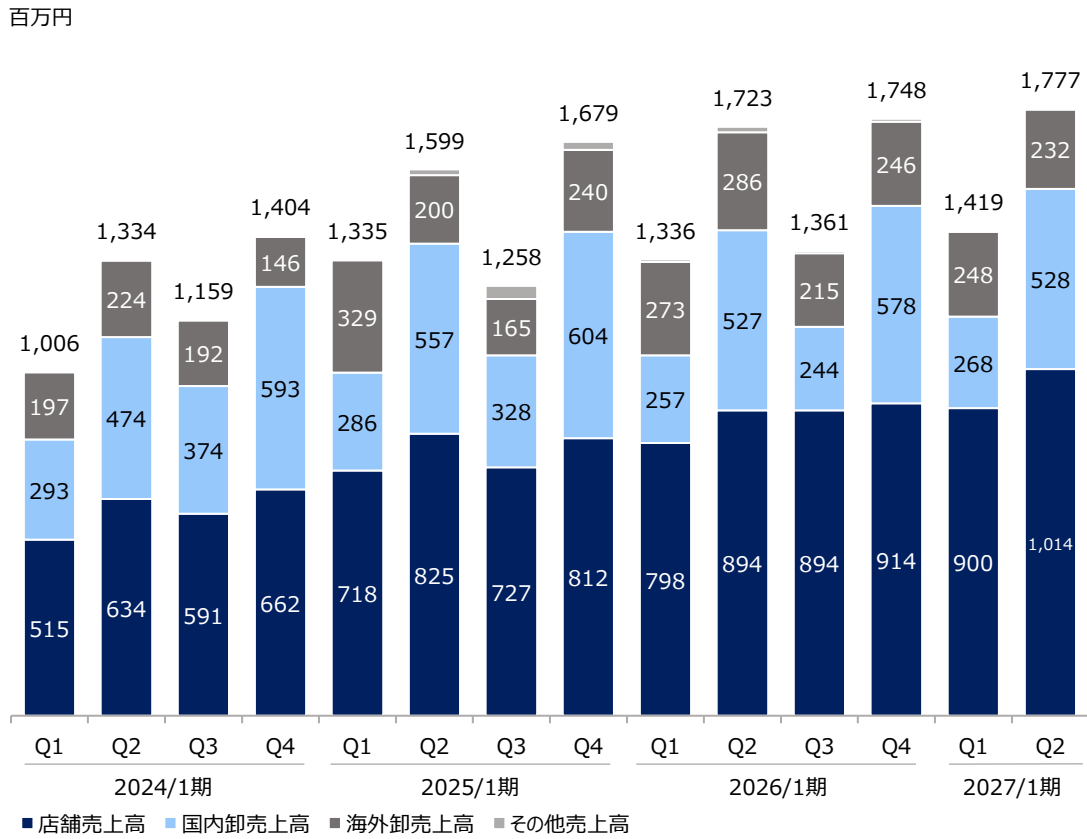
フラッグシップ店舗オープンについて

- 2026年7月31日、ブランド発祥の地である福井県鯖江市に「金子眼鏡店鯖江本店」をオープン
- 本店ならではの豊かな商品ラインナップを展開し、開業以降、多くのお客様にご来店いただき堅調な売上推移を継続

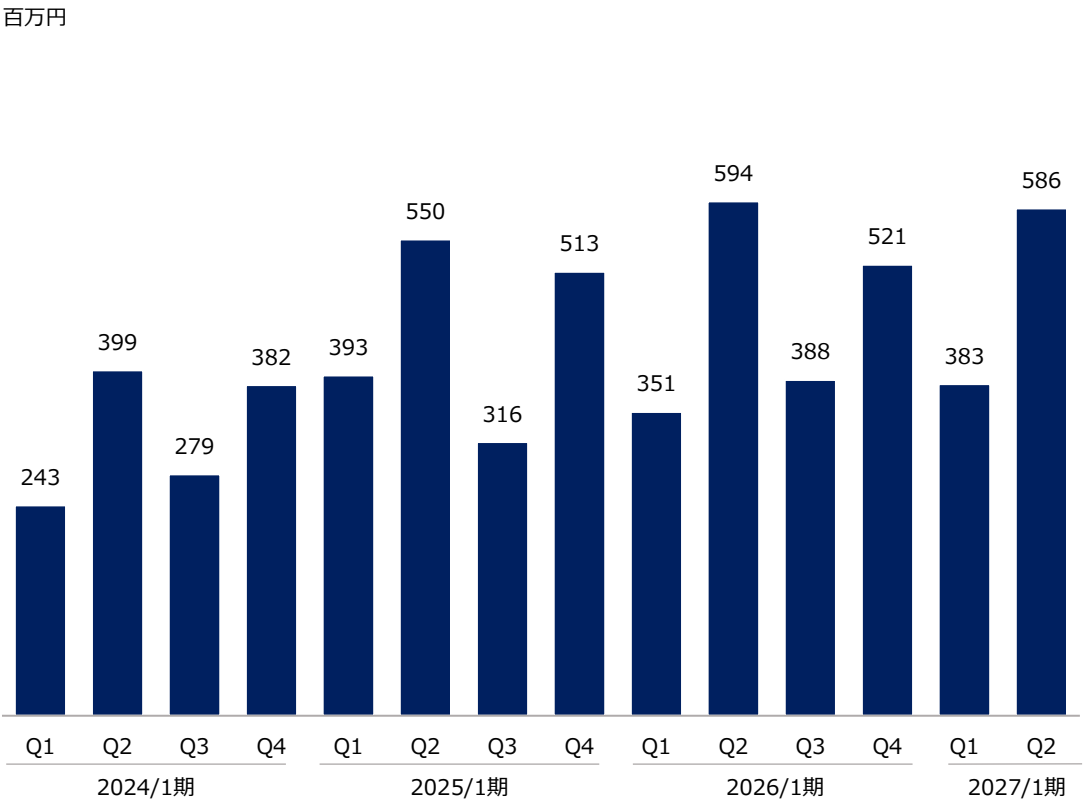


- 第2四半期のセグメント売上は前年同期3.1%増の約18億円、セグメント利益は前年同期比1.3%減の約6億円
- 第2四半期累計期間において3店舗の新規出店を実施

販売経路別セグメント売上



セグメント利益



フォーナインズ新規出店



2026年3月 OPEN

フォーナインズ ヒューリックスクエア札幌店



2026年4月 OPEN

フォーナインズ クォーツ心斎橋店



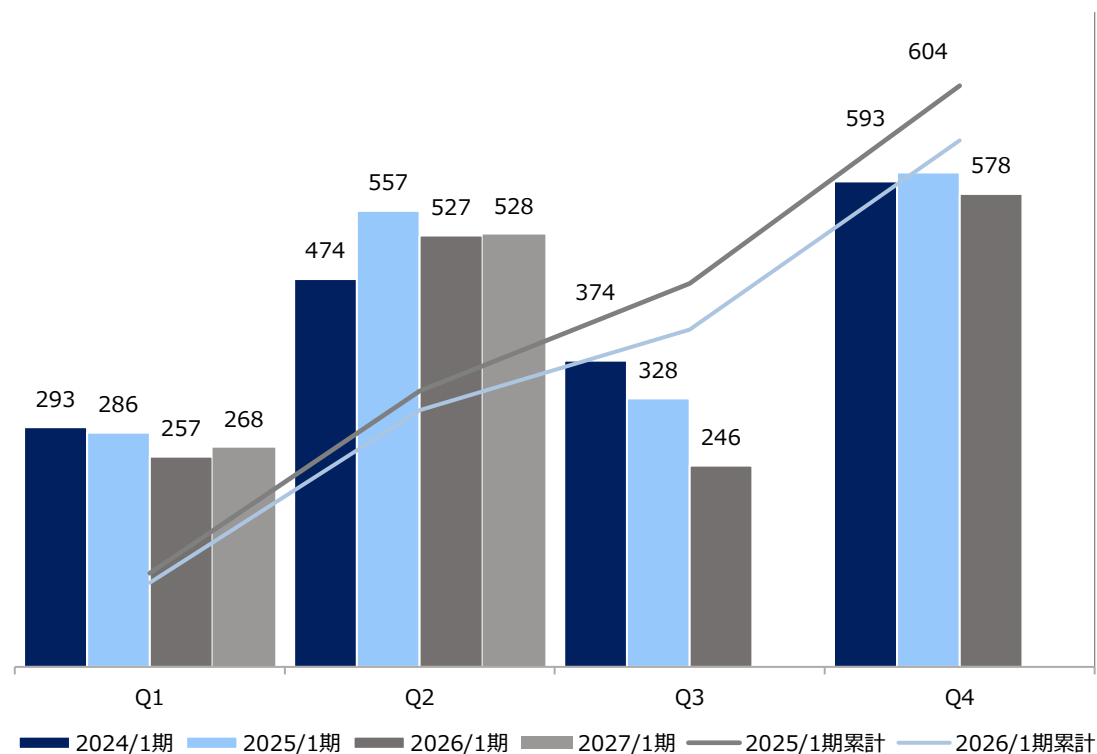
2026年6月 OPEN

フォーナインズ HAERA店

- 第2四半期の国内卸売上は前年同期比0.1%増の5億円、海外卸売上は18.9%減収の2億円となった
- 海外卸売上の減収は一部売上の計上時期が翌四半期以降となったことなどによるもの

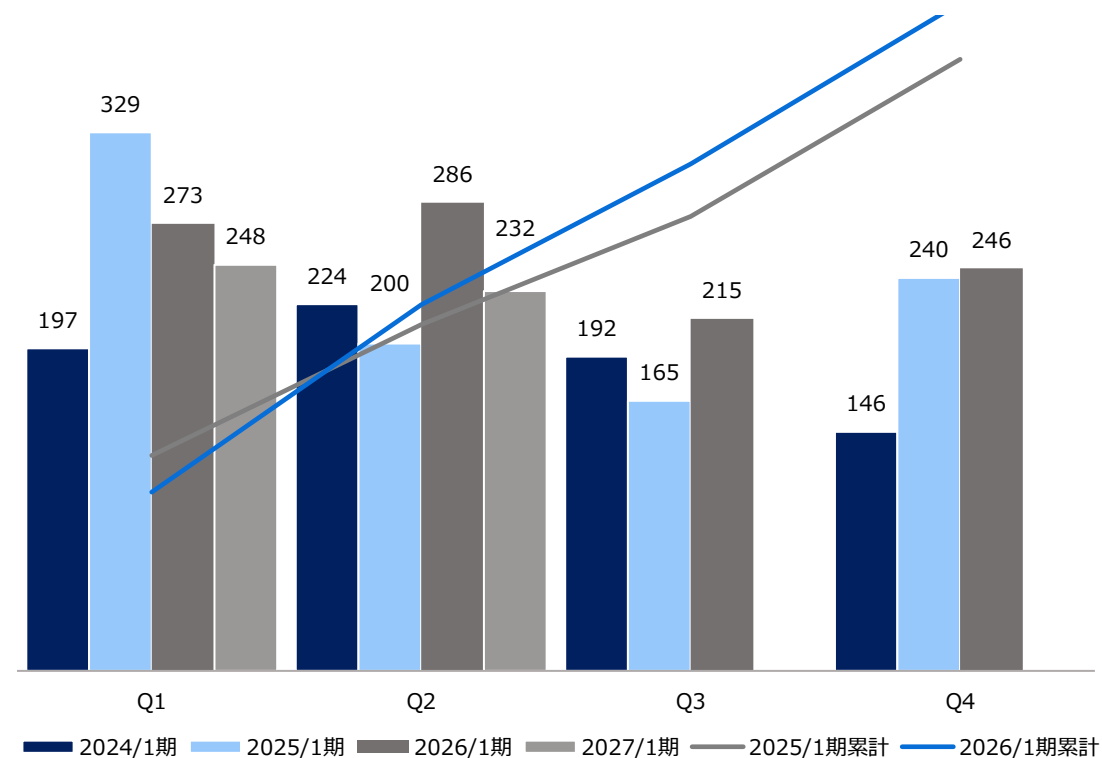
四半期別国内卸売上

百万円



四半期別海外卸売上

百万円



株主還元

- 潤沢に産み出されるキャッシュを原資として、株主還元と借入金返済、成長投資を適切なバランスで実施する

潤沢に創出される営業キャッシュ・フロー

- ◆ 積極的な株主還元
- ◆ 借入金返済
- ◆ 国内・海外における店舗投資の実施
- ◆ 製造力強化への投資

配当政策

将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としており、年間配当性向**40%**を目安として配当を実施する方針です。

2027年1月期年間配当は1株当たり**86**円を計画しております。

中間配当については、当初計画通り**43**円とさせていただきます。

Appendix

社名	Japan Eyewear Holdings株式会社		
所在地	(福井本社) 福井県鯖江市上河端8-13 (東京本社) 東京都世田谷区成城2-11-12		
創業	1958年 (金子眼鏡創業)		
設立	2019年 (旧Lunettes HD株式会社設立)		
資本金	978百万円 (2026年7月31日現在)		
代表者	代表取締役CEO 金子 真也		
株主構成 (2026年7月31日現在)	金子インベスト株式会社	37.5%	
	日本企業成長投資 1 号投資事業有限責任組合	3.7%	
	Camellia Fund I Cayman, LP	2.0%	
	Cerasus Fund I Cayman, LP	1.6%	
	Wisteria Fund I Cayman, LP	1.0%	
連結子会社数	国内5社、海外6社		

	2026年1月末時点	2026年7月末時点	増減
ファンド持ち分合計	10.5%	8.3%	▲2.1pt

日本発のラグジュアリー・アイウェア・カンパニー

- 世界を代表する眼鏡生産地「福井・鯖江」の熟練したクラフツマンシップにより、自社で企画・デザインする高品質のアイウェアを製造・販売⁽¹⁾

鯖江  手造

金子眼鏡

ESTABLISHED 1958

眼鏡生産地「福井・鯖江」を代表する
国内アイウェア業界のトレンドリーダー

創業

1958年

売上収益

124億円（2026年1月期、前年比+15.5%）
～約90%が店舗売上

店舗形態

直営店： 国内84店舗、フランス2店舗、中国5店舗、
香港2店舗、台湾・シンガポール各1店舗
（2026年7月末時点）

一式単価⁽²⁾

約84,000円

国内法人

金子眼鏡株式会社、株式会社栄光眼鏡
株式会社ハンズ

海外法人

KANEKO FRANCE SARL、金子眼鏡（上海）有限公司
Japan Eyewear Holdings Hong Kong Co., Ltd.
Japan Eyewear Holdings Taiwan Co., Ltd.

Japan Eyewear Holdings

注:

1. 取扱店での販売もあり
2. 一式単価はフレーム及びレンズの購入単価合計。2027/1期第2四半期累計実績

共通 国内法人：Japan Eyewear Holdings株式会社

9999

フォーナインズ

機能を磨き上げることで、最高純度の品質
美しいフォルムを表現する高級眼鏡ブランド

創業

1995年

売上収益

61億円（2026年1月期、前年比+5.1%）
～店舗売上と卸売が約50%ずつ

店舗形態

直営店： 国内21店舗、シンガポール1店舗
（2026年7月末時点）

一式単価⁽²⁾

約89,000円

国内法人

株式会社フォーナインズ
株式会社タイホウ

海外法人

FOUR NINES SINGAPORE PTE. LTD.

共通 海外法人：Japan Eyewear Holdings International Co., Ltd.

Our Philosophy

私たちは、アイウェアを通して、
世界中の人々に「夢」「感動」「幸福」を提供し続けます。

私たちは、アイウェアを通して、
世界中の人々の文化的生活の向上に寄与することを目指します。

私たちは、アイウェアを通してもたらされる繁栄を、
関係する全ての人々と共有し、ともに成長し、社会に貢献していきます。



長期ビジョン

クラブツマンシップ®の伝統と革新を世界へ

ブランドコンセプト

眼鏡の世界三大産地である「鯖江」で培われた職人達の卓越した技とものづくりの魂に加え、デザイン性・機能性・ファッション性を実現する最新技術を融合し、高いクオリティを実現



ブランドポジショニング

- 高水準の情緒的価値・機能的価値を提供することで、他社・他ブランドとの差別化に成功

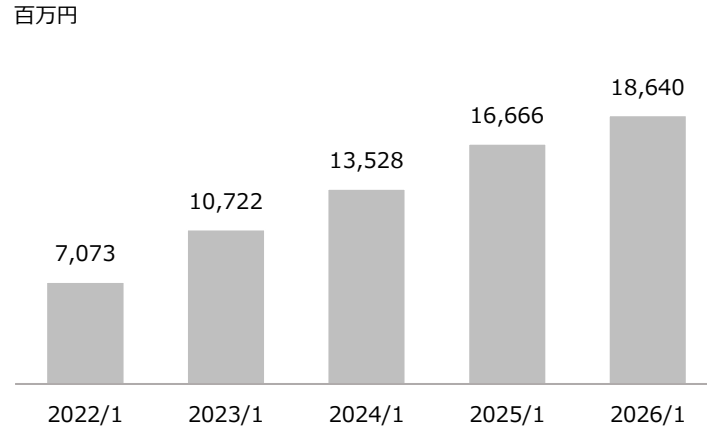


- ブランド哲学の違いにより、両ブランドがそれぞれ独自のポジションを確立

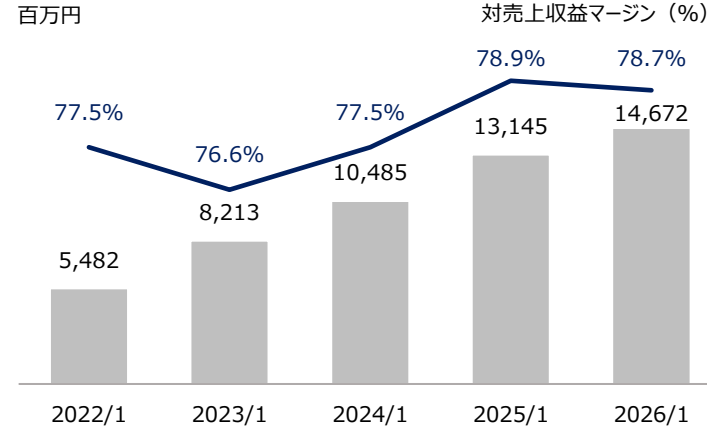
鯖江 〇〇 手造 金子眼鏡 ESTABLISHED 1958 Japan Eyewear Holdings	 眼鏡は文化 作り手の物語とクラフツマンシップを重視 職人・物語・美意識を軸に感性に訴える デザイン・アプローチ ヴィンテージやクラシック要素の現代的解釈 プロダクト・ポリシー 職人による手仕事・時間をかけた製造 訴求ポイント モノと作り手の「背景」に価値がある ロゴ・アイコン 控えめ。形や質感でブランドを語る 顧客像 世界観と物語を愛する感性派 老若男女偏りなく幅広い層が支持
9999.9 フォーナインズ	 眼鏡は道具 機能性・掛け心地の追求が最優先 快適さと構造美を極める理性重視のブランド デザイン・アプローチ 設計が美しさになる「機能美」 プロダクト・ポリシー 自社開発の機構・構造設計に特化した快適設計 訴求ポイント 製品そのものの「性能」に価値がある ロゴ・アイコン 控えめ。フレーム形状などで識別性を担保 顧客像 道具としての完成度を求める理性派 40代～50代の男性がメイン顧客層

Key Financials

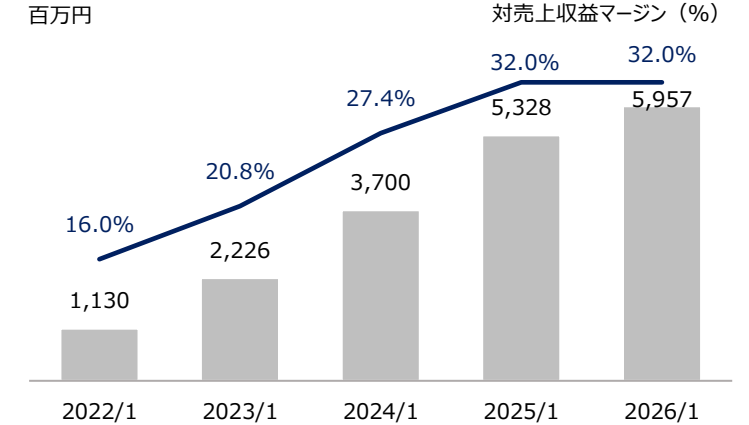
売上収益



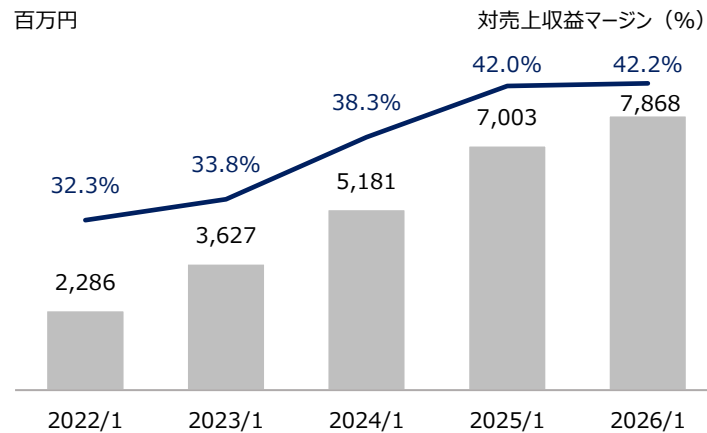
粗利益



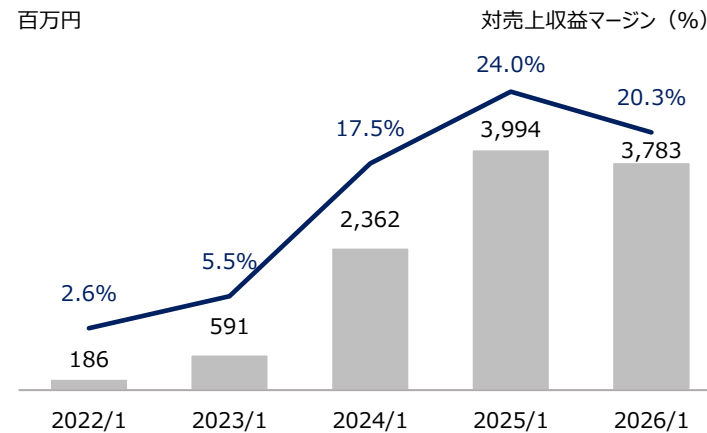
営業利益



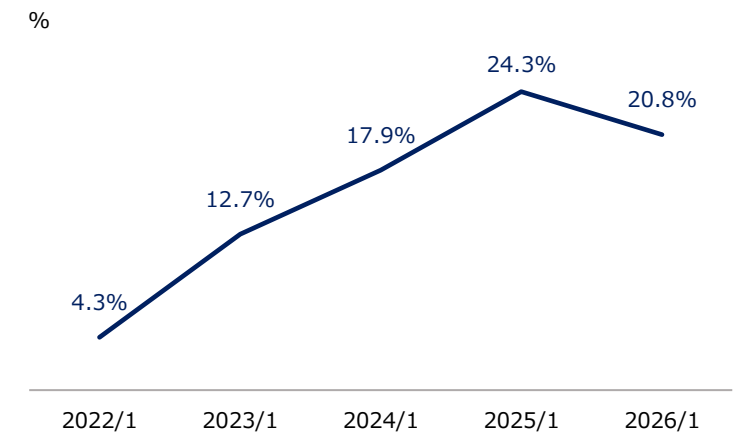
EBITDA (2)



当期利益



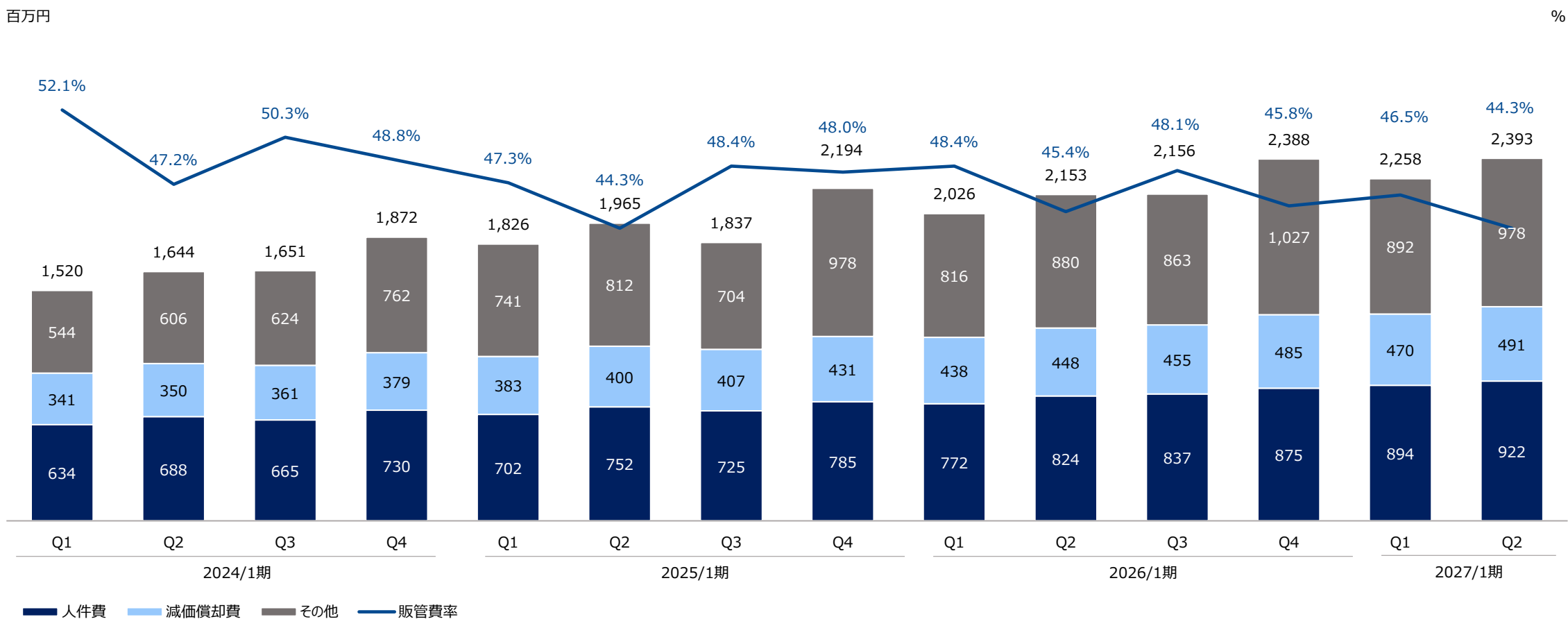
ROE (3)



注:
1. IFRSベース
2. EBITDA=営業利益+減価償却費+識別可能資産償却費
3. 当期利益/(資本金+資本剰余金+利益剰余金) (期末時点)

連結販管費推移

- 増収効果などにより、第2四半期の販管費率は前年同期比1.1ポイント低下



2027年1月期主要施策

- 中期計画達成に向けて、引き続き着実に施策を実施



- 1 両ブランド合計で5店舗以上の国内新規出店を予定
- 2 中国及び周辺諸国において、2店舗以上の新規出店を予定
- 3 海外顧客向け売上は35%を想定（うちインバウンド向け売上は40億円）
- 4 両ブランドにおいて価格改定を実施
- 5 引き続き、厳格なコストコントロールを実施

- 2027年1月期通期業績予想は、売上収益は前年比10.5%増の206億円、営業利益は14.2%増の68億円、当期利益は16.3%増の44億円とする

百万円

	2026/1期実績	2027/1期業績予想	前年同期比
売上収益	18,640	20,600	110.5%
売上原価	3,968	4,100	103.3%
売上総利益	14,672	16,500	112.5%
売上総利益率	78.7%	80.1%	-
販売費及び一般管理費	8,725	9,700	111.2%
その他の収益/その他の費用（▲）	10	0	0.0%
営業利益	5,957	6,800	114.2%
営業利益率	32.0%	33.0%	-
金融収益/金融費用（▲）	▲ 333	▲ 300	90.0%
税引前利益	5,623	6,500	115.6%
法人所得税費用	1,840	2,100	114.1%
当期利益	3,783	4,400	116.3%

本資料は、当社グループについての一般的な情報提供を目的としており、当社の発行する株式その他の有価証券への投資の勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、経済情勢、市場動向、消費者の嗜好の変化、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。